



令和元年度 事業報告



人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社 香川県支部
Japanese Red Cross Society

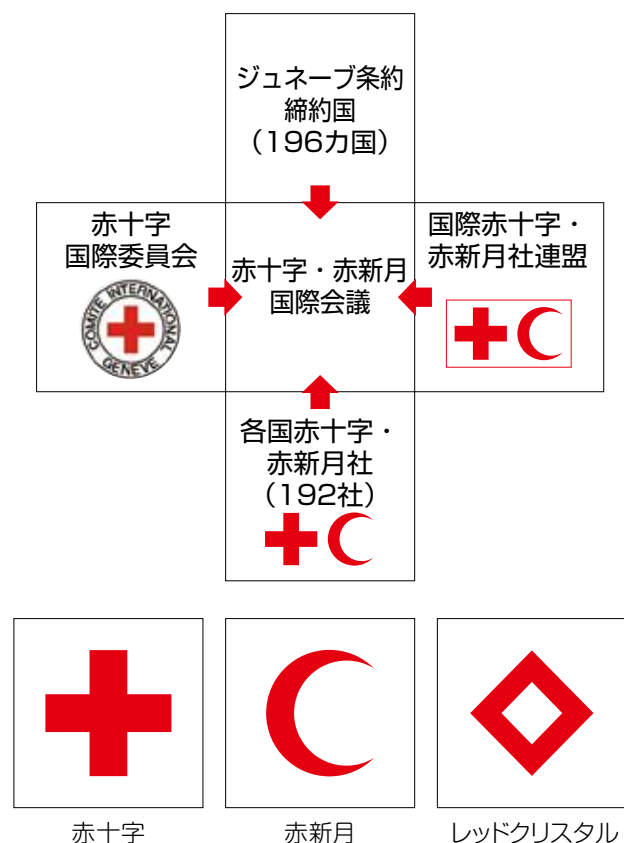
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカステリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動 の基本原則

(第20回赤十字国際会議 (1965年、ウィーン) 決議第8
(改正: 第25回赤十字国際会議 (1986年、ジュネーブ) 決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人 道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公 平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中 立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独 立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕の救護組織である。

単 一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世 界 性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。



CONTENTS

1	全 国 赤 十 字 大 会	1
2	赤十字会員と活動資金の状況	1
3	災 害 救 護	2
4	国 際 活 動	7
5	救 急 法 等 の 講 習	8
6	赤 十 字 奉 仕 団	13
7	青 少 年 赤 十 字	17
8	医 療 事 業	21
9	血 液 事 業	23
10	赤 十 字 思 想 の 普 及	24
11	香 川 県 赤 十 字 有 功 会	27
12	評 議 員 会	27
13	決 算 概 要	28





全国赤十字大会

大会は、令和元年5月22日（水）東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約1,900人の赤十字会員やボランティアが集い、全国赤十字大会が開催されました。香川県からは、29名の奉仕団員等の代表者が参加しました。

●プロローグ

活動記録「赤十字この一年」上映

●式典

- ・有功章ご授与
- ・社長表彰
- ・厚生労働大臣祝辞
- ・実践活動の報告

岡山赤十字病院 医療社会事業部長 齋藤 博則 氏

「平成30年7月豪雨災害における

日本赤十字社岡山県支部・岡山赤十字病院の活動記録

—倉敷市真備での支援活動—

神奈川県赤十字国際奉仕団 田中 友美乃 氏

「Youth On The Move

—ユースボランティアとしてのこれまでとこれから—



赤十字会員と活動資金の状況

「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。

「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。

令和元年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

■ 会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計会員数
平成27年度	92,092	2,562	94,654
平成28年度	83,453	2,623	86,076
平成29年度	83,446	2,661	86,107
平成30年度	59,930	2,899	62,829
令和元年度	57,149	3,519	60,668

※平成30年度から規則変更により集計方法を変更しています。

■ 活動資金の実績状況

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
平成27年度	174,926,631	16,267,988	191,194,619	146,000,000
平成28年度	126,529,549	30,188,592	156,718,141	146,000,000
平成29年度	138,899,983	17,380,450	156,280,433	146,000,000
平成30年度	163,801,465	22,141,835	185,943,300	146,000,000
令和元年度	131,040,637	34,639,871	165,680,508	146,000,000





災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

救護班の編成（1班7人編成 8個班）

（単位／人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	計
1個班の編成基準		1	1	2	1	2	7
常備要員数		8	8	16	8	16	56

※必要に応じて、助産師・特殊要員を加えます。

また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位／人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師の内1人がチームリーダー、主事の内1人がサブリーダーとなります。



災害救護活動

香川県支部からの救護班の派遣はありませんでした。

災害救助法に基づく救助又はその応援の実施に関する委託契約

平成31年4月9日に「災害救助法に基づく日本赤十字社への委託に関する内閣府特命担当大臣（防災）と日本赤十字社社長との協定」が締結されたことを受けて、香川県と香川県支部は、令和元年8月15日付で、災害救助法に基づく救助又はその応援の実施に関し、委託契約を締結しました。

支部業務用無線基地局（新スプリアス規格対応）の更新整備

日本赤十字社 業務用無線局については、災害時の有用な通信手段として、従来からその整備・運用を行っていますが、総務省による無線設備規則の一部改正（平成17年12月1日付）に伴い、新スプリアス規格への対応（令和4年11月30日まで）のため、下記業務用無線基地局設備を更新しました。

更新基地局

- ①周波数 157.73MHz
更新価格 6,088,500円（本社財源）
- ②周波数 415.2625MHz
更新価格 599,500円（支部財源）



災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

東日本大震災義援金	(44件)	645,111円
平成28年熊本地震災害義援金	(14件)	87,767円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	(2件)	51,614円
平成30年7月豪雨災害義援金	(28件)	771,798円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	(3件)	185,181円
令和元年8月豪雨災害義援金	(12件)	336,118円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	(19件)	325,976円
令和元年台風第15号東京都義援金	(5件)	37,423円
令和元年台風第19号災害義援金	(168件)	13,739,500円
(合計)	(295件)	16,180,488円
※東日本大震災義援金当初からの累計	(14,427件)	1,645,283,733円
※熊本地震災害義援金当初からの累計	(959件)	110,056,622円



災害等による被災者の援護

公益財団法人JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他バスタオル、ブルーシートなど、救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

災害救援物資の備蓄状況（令和2年3月31日現在）

品名	地区別	平成30年度繰越数	本年度増減数				令和元年度末備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	他県へ管理譲	県内へ配分	転用		支部	地区等
毛布(枚)		4,433	—	—	145	—	4,288	3,630	658
緊急セット(個)		1,085	—	—	39	—	1,046	936	110
安眠セット(個)		1,332	—	—	—	—	1,332	1,254	78
バスタオル(枚)		822	—	—	—	—	822	650	172
ブルーシート(枚)		593	—	—	—	—	593	540	53
タオルケット(枚)		1,300	—	—	—	—	1,300	1,300	—



緊急セット
1世帯(4人分)

- ・タオル
- ・軍手
- ・歯ブラシ
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点



安眠セット

- ・マット
- ・耳栓
- ・枕
- ・スリッパ
- ・アイマスク
- ・靴下

火災等の被災者並びに避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布(枚)		37	6	0	0	4	4	90	0	3	0	1	145
緊急セット(個)		21	3	0	0	2	5	5	0	2	0	1	39
安眠セット(個)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

火災等の被災世帯と同災害による死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。

(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		320	100	20	0	20	140	180	60	60	0	100	1,000
弔慰金		100	40	40	0	0	40	20	0	0	0	40	280
中国帰国者見舞金		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		420	140	60	0	20	180	200	60	60	0	140	1,280



救護員の養成



行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月9日(火)	赤十字救護員	69	高松赤十字病院	
救護員研修会	4月9日(火)	赤十字救護員	51	高松赤十字病院	災害診療録の標準化、J-SPEED について
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月17日(金)	赤十字救護員 (主事・ロジスティックス)	14	香川県青年センター	救護資機材の操作訓練、救護所設営(DRASH)、緊急車両操作(通信指令車・救急車)、中型車両操作(トラック・dERU)
こころのケア研修	7月18日(木)	赤十字救護員	30	高松赤十字病院	講義(日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア)、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	第1回 9月19日(木)	赤十字救護員 (任命予定者)	55	高松赤十字病院	(座学) 赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害医療概論、救護業務で活用するシステムや診療録、救護所設営机上演習、基礎行動
	第2回 10月15日(火)	赤十字救護員 (任命予定者)	61	香川県青年センター	救護資機材取扱(担架・簡易ベッド・発電機・医療資機材)、救護所設営(エアテント・パイプテント) トリアージ、救護シミュレーション(救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセスメント)

■ DRASH テント (大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できるフレーム一体式テント) を用いた救護員実践研修の実施

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
救護員実践研修会	6月18日(火)	赤十字救護員	52	香川県青年センター	DRASH の運用、グループワーク、DRASH の展開実習等、救護資機材操作、現場救護所シミュレーション



日本赤十字社中国・四国各県支部合同訓練等への参加

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
中国・四国各県支部合同災害救護訓練	11月9日(土)~10日(日)	赤十字救護員	11	鳥取市内	(1日目) 情報収集・伝達訓練 (EMIS) (2日目) 参集訓練 ・通信訓練(業務無線・衛星携帯電話) ・情報伝達 (EMIS) 巡回診療訓練 ・避難所アセスメント ・情報伝達 (EMIS、J-SPEED) 救護訓練 ・トリアージ ・応急処置 ・後方搬送 (3日目) 活動エリア別の訓練振り返り、検証 鳥取県東部圏域医療 Co チーム調整会議



行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
原子力災害対応 基礎研修会	11月28日(木) ～29日(金)	赤十字救護員	6	松山赤十字病院	講義(放射線防護の基礎知識、原子力災害 対策指針、放射線防護資機材について)、デ ジタル個人線量計の使用法、防護服着脱 方法



行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
災害対策本部 要員研修会	2月27日(木) ～28日(金)	赤十字救護員	※	高知県赤十字 血液センター	講義(災害救護リソース、通信の確保、災害 対策本部の機能と役割、本部の運営、災害 時の記録)
		スタッフ	※		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

他機関の防災訓練等への参加



行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
高松市 総合防災訓練	6月16日(日)	高松市赤十字奉仕団川岡分団	25	香川県消防学校	非常食の炊き出し・配分
		赤十字救護員	2		
香川県石油コンビナート 総合防災訓練	11月6日(水)	赤十字救護員	8	ライオンケミカル(株) オレオケミカル事業所	救護所開設、トリアージ、応急 医療、負傷者搬送、無線交信
香川県国民保護 図上訓練	2月4日(火)	赤十字救護員	2	香川県庁 まんのう町役場	コントローラー、連絡員
高松市消防局 集団救急事案対応訓練	2月26日(水)	穴吹学園学生赤十字奉仕団	※	ウインズ高松 第2駐車場	救護所開設、トリアージ、応急 医療、負傷者搬送、無線交信
		赤十字救護員	※		

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



赤十字防災ボランティアの養成

災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）や個人や民間レベルでの助け合い活動を行う赤十字防災ボランティアを養成しました。

香川県赤十字防災ボランティア活動状況

①登録人員 208人（個人登録） 4団体（団体登録）

②防災ボランティア基礎研修会

- 日 時 令和元年6月9日(日) 10:00～15:00
- 場 所 日本赤十字社香川県支部 ボランティア室
- 参 加 者 赤十字防災ボランティア等 28人
- 研修内容 赤十字の理念、赤十字防災ボランティア活動のガイドライン
平成30年7月豪雨災害活動報告、災害救護装備・支部倉庫見学
非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当



③防災ボランティア実践研修会

- 日 時 令和2年1月25日(土) 10:00～15:00
- 場 所 香川県青年センター
- 参 加 者 赤十字防災ボランティア等 54人
- 研修内容 無線の基礎、クロノロ体験、非常食作り、救護テント等資機材操作、搬送法、ロープワーク



臨時救護

第20回香川県障害者スポーツ大会等6か所に救護員等延べ17人を派遣し、負傷者14人の手当てをしました。

- 第48回幼稚園まつり
- 仲多度郡・善通寺市中学校総合体育大会サッカー競技
- 津田の松原 海水浴場
- 第15回3オン3ツインバスケフレンドリー大会
- 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター
- 第20回香川県障害者スポーツ大会(丸亀市民体育館、Pikara スタジアム)



「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

未曾有の被害をもたらした平成30年7月豪雨災害や東日本大震災、熊本地震の災害。そして、ボランティア元年となった、阪神・淡路大震災の記憶を風化させぬよう、県民の防災・減災意識の向上を目的に子育て世代をターゲットとして開催を予定していました。

- 日 時 令和2年3月7日(土) 10:00～16:00
- 場 所 さぬきこどもの国(高松市香南町)
- 内 容
 - ・活動パネル展示……防災関連団体の活動をわかりやすく展示
 - ・学べる体験ブース…防災をテーマにした楽しい体験コーナー
 - ・親子で防災講座……親子で学べる参加自由形の防災学習





日本赤十字社は、世界192の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行います。

また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本社が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

国際救援

国際救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(400件)	3,849,721円
中東人道危機救援金	(1件)	5,000円
バングラデシュ南部避難民救援金	(1件)	5,000円
(合計)	(402件)	3,859,721円



開発協力

「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、令和元年12月7日（土）に、高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場付近の高松市内2カ所において、青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月2日（月）にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

●オープニングセレモニー

【青少年赤十字加盟校】
高松市立一宮幼稚園

●街頭募金参加団体

【青少年赤十字加盟校】
高松市下笠居こども園
高松市立高松第一小学校
高松市立桜町中学校
高松市立高松第一中学校
高松市立香東中学校

【赤十字奉仕団】

高松市赤十字奉仕団
香川県青年赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団

【その他】

久光製薬株式会社高松営業所



浄水ユニットの設置を急ぐ赤十字スタッフとボランティア（ラオス赤十字社）

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるように、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っております。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業資金の拠出
(中国・四国各県支部共同事業 拠出総額) 660,806円
7,000,000円)



地元の子供たちに手洗い方法とその重要性について指導（フィリピン赤十字社ボランティア）





救急法等の講習

赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では令和元年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

救 急 法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

救急員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学 看護学科2年生、歯科衛生学科3年生	100	100
香川看護専門学校 第1・2看護学科2年生	83	83
香川県警察学校 初任科第89期短期・長期生	54	54
香川県立飯山高等学校 看護科2・3年生	65	64
四国医療専門学校 スポーツ医療学科1学年	15	15
四国こどもとおとなの医療センター附属普通看護学校 2年生	72	72
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	32	31
高松赤十字病院	15	15
支部主催教室（土日）（2回）	113	108
支部主催教室（平日）（1回）	20	19
計 11 回	569	561



基礎講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
香川県サッカー協会	36	36
香川県歯科医師会	98	98
四国医療専門学校（3回）	72	72
大和リース株式会社高松支店	21	21
True Japan Tour 株式会社	68	68
その他（13回、救急法救急員養成講習会等を含む）	706	706
計 20 回	1,001	1,001



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
穴吹医療大学校	56
穴吹エンタープライズ株式会社	36
綾川町立昭和小学校	19
一ノ谷スポーツクラブ	25
一般財団法人 香川県森林林業協会	10
宇多津町自治会連合会 (8回)	185
宇多津町地域組織活動協議会	20
宇多津町立宇多津中学校 (2回)	160
英明高等学校 (2回)	485
円座校区コミュニティ協議会 (6回)	400
大手前丸亀高等学校 (2回)	109
公益財団法人 かがわ健康福祉機構	21
香川県キャンプ協会	21
香川県教育委員会事務局高校教育課	7
香川県教育委員会事務局保健体育課 (2回)	190
香川県教育センター (3回)	76
香川県警察学校	40
香川県警察 東かがわ警察署	9
香川県警察 さぬき警察署	24
香川県警察 高松東警察署	11
香川県警察 小豆警察署	11
香川県警察 高松北警察署	39
香川県警察 高松南警察署	30
香川県警察 坂出警察署	18
香川県警察 高松西警察署	12
香川県警察 丸亀警察署	27
香川県警察 琴平警察署	8
香川県警察 三豊警察署	41
香川県警察 観音寺警察署	11
香川県警察 自動車警ら隊・交通機動隊	13
香川県交通安全協会 (4回)	310
香川県高等学校家庭クラブ連盟	70
香川県山岳・スポーツクライミング連盟	12
香川県指定自動車学校協会 (3回)	117
香川県水泳協会	15
香川県赤十字血液センター (2回)	40
香川県地区小型船安全協会	113
香川県中讃保健福祉事務所	40
香川県聴覚障害者協会 (手話言語フェスティバル)	63
香川県ドッジボール協会	20
香川県藤井高等学校	60
香川県みどり整備課 (みどりの学校)	20
香川県立石田高等学校 (2回)	120
香川県立香川西部養護学校	120
香川県立香川中央高等学校	30
香川県立香川中部養護学校	100
香川県立香川東部養護学校	80
香川県立香川丸亀養護学校	130
香川県立笠田高等学校 (3回)	143
香川県立川部みどり園 (2回)	24
香川県立観音寺総合高等学校 (2回)	268
香川県立琴平高等学校 (2回)	226
香川県立坂出工業高等学校	50
香川県立坂出高等学校	53
香川県立坂出商業高等学校 (2回)	200
香川県立斯道学園	20
香川県立志度高等学校 (2回)	120
香川県立善通寺第一高等学校 (2回)	210
香川県立善通寺養護学校	100
香川県立高瀬高等学校	160
香川県立高松工芸高等学校 (2回)	160
香川県立高松高等学校 (2回)	85

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
香川県立高松桜井高等学校 (3回)	290
香川県立高松商業高等学校	40
香川県立高松東高等学校 (3回)	222
香川県立高松南高等学校	60
香川県立高松養護学校	100
香川県立多度津高等学校 (2回)	195
香川県立津田高等学校 (2回)	114
香川県立飯山高等学校	35
香川県立丸亀城西高等学校	30
香川県立三木高等学校	50
香川県立盲学校	40
香川県立聾学校 (2回)	60
香川大学教育学部附属特別支援学校 (2回)	49
香川大学教育学部附属高松小学校	35
香川長寿大学 山をゆっくり歩こう会	30
学童クラブ ゆうか	40
株式会社ハッピーライフ愛	30
株式会社フソウ	80
亀阜放課後児童クラブ	110
川崎重工業株式会社船舶海洋カンパニー	25
観音寺市愛育会	55
観音寺市立観音寺中学校 (2回)	102
観音寺市立中部中学校 (2回)	137
観音寺市立豊浜中学校 (2回)	72
香西婦人会	45
高齢者複合施設 すずかけの径	20
国立大学法人 香川大学	120
ことでんバス株式会社 (2回)	40
坂出市川津地区社会福祉協議会	40
さぬき市赤十字奉仕団造田分団	200
さぬき市民病院	30
さぬき市立さぬき南小学校	50
さぬき市立さぬき南中学校	27
さぬき市立志度中学校 (2回)	128
四国警察支局警察学校 (8回)	372
四国電力株式会社	69
四国百名山会	32
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	84
世界救急法の日記念イベント	140
四変テック株式会社	41
障害者支援施設ウインドヒル	35
善通寺市健康推進員連合会	24
善通寺市東部地区自主防災会 (4回)	280
高松琴平電気鉄道株式会社 (12回)	216
高松市こども園運営課	82
高松市桜町中学校 (3回)	175
高松市赤十字奉仕団	300
高松市赤十字奉仕団太田分団	18
高松市赤十字奉仕団太田南分団	35
高松市赤十字奉仕団仏生山分団	20
高松市赤十字奉仕団四番丁分団	30
高松市多肥地区保健委員会	21
高松市立一宮小学校	40
高松市立植田小学校	10
高松市立太田中学校 (2回)	227
高松市立太田南小学校	45
高松市立大野小学校	40
高松市立勝賀中学校	40
高松市立川島小学校	30
高松市立川添小学校	25
高松市立木太小学校	30
高松市立木太中学校 (3回)	233



対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
高松市立木太南小学校	40	東かがわ市赤十字奉仕団	130
高松市立協和中学校	45	東かがわ市立大川中学校 (2回)	106
高松市立香東中学校	32	東かがわ市立白鳥中学校	84
高松市立香南小学校	21	東かがわ市立引田小・中学校	85
高松市立香南中学校 (2回)	80	仏生山国際交流会	150
高松市立桜町中学校	74	丸亀市PTA 連絡協議会	49
高松市立紫雲中学校	45	丸亀市小学校教育研究会	400
高松市立下笠居中学校	36	丸亀市城西婦人会	40
高松市立新番丁小学校	40	丸亀市中学校体育連盟	18
高松市立高松第一小学校・中学校	35	丸亀市文化財観光案内会	30
高松市立中央小学校 (3回)	124	丸亀市立郡家小学校	40
高松市立古高松中学校	30	丸亀市立城北小学校	26
高松市立栗林小学校	50	丸亀市立飯山南小学校	100
高松赤十字病院 (3回)	76	丸亀市立東中学校 (2回)	214
多度津町 (4回)	200	丸亀市立南中学校 (2回)	225
多度津町社会福祉協議会	18	まんのう町赤十字奉仕団四条分団	30
多度津町立豊原小学校 (2回)	86	まんのう町赤十字奉仕団高篠分団	50
東讃里山ボランティアガイド	30	まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	50
特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	12	まんのう町赤十字奉仕団長炭分団	40
特別養護老人ホーム香色苑	24	まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	90
特別養護老人ホームさんさん荘	20	三井自主防災会	50
特別養護老人ホーム白百合荘	25	三木町社会福祉協議会	110
富熊地区自主防災会	15	三木町立田中小学校 (2回)	74
直島町立直島中学校 (2回)	70	三豊市赤十字奉仕団仁尾分団	50
中庭住宅株式会社	65	三豊市詫間町新浜自治会	30
二番丁地区女性防火クラブ	48	山と元気の会	20
日本赤十字社香川県支部 (15回)	450	有限会社シーガルファーマシー	10
日本赤十字社香川県支部丸亀市地区	70		
花園地区体育協会	20		
		計 282 回	14,970

水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

救助員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
香川県消防学校 消防学生 及び 支部主催教室 7月コース (プール)	54	50
支部主催教室 11月コース (プール)	6	5
支部主催教室 津田の松原 (海)	6	6
計 3 回	66	61

短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
香川県教育委員会事務局保健体育課	146
香川県立香川西部養護学校 (2回)	46
公益財団法人高松市スポーツ協会 (5回)	49
善通寺市立中央小学校	33
善通寺市立東部小学校 (3回)	131
高松市立香南小学校	30
高松市立三溪小学校	82
高松市立多肥小学校	52
高松市立屋島小学校 (2回)	160
多度津町立豊原小学校 (2回)	155
日本赤十字社香川県支部 (3回)	29
丸亀市立富熊小学校 (3回)	98
牟礼小学校区子ども会育成連絡協議会	40
計 26 回	1,051



健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
英明高等学校 福祉系3年生	18	17
尽誠学園高等学校 衛生看護学科2年生	29	27
支部主催教室 (2回)	30	28
計 4 回	77	72



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
綾歌郡婦人団体連絡協議会	80
円座西団地	30
香川県立農業経営高等学校 (6回)	72
木太南高齢者教室	30
コープ香川	19
善通寺市南部公民館	40
高松市赤十字奉仕団檀紙分団	80
高松市赤十字奉仕団築地分団	2
高松市赤十字奉仕団古高松分団	16
高松市多肥地区保健委員会	21
高松市弦打地区保健委員会	30
特別養護老人ホームさんさん荘	14
日本赤十字社香川県支部 (7回)	397
丸亀市城西婦人会	40
丸亀ボランティアサークル すみれ会	16
東かがわ市赤十字奉仕団引田分団	25
まんのう町買田老人クラブ	30
まんのう町赤十字奉仕団四条分団	30
まんのう町赤十字奉仕団高篠分団 (2回)	140
まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	50
まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	20
三木町児童安全対策協議会	42
計 34 回	1,224



幼児安全法

こどもを社会の財産として大切に育てるために、「こどもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ 保育・食育学科、こども保育学科	17	15
支部主催教室 (2回)	26	24
計 3 回	43	39



短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
宇多津町地域組織活動協議会	20	二番丁地区社会福祉協議会	20
えるふあみりい	9	二番丁幼稚園	6
香川県教育センター	57	日本赤十字社香川県支部 (3 回)	175
香川県こども家庭課	32	白山小学校・白山児童クラブ	50
香川県立図書館子育て支援	16	東かがわ市 すくすく教室	17
観音寺中部保育園	15	東かがわ市赤十字奉仕団引田分団	25
観音寺ファミリー・サポート・センター (4 回)	41	東かがわ市ファミリー・サポート・センター	30
子育てネットひまわり (2 回)	25	ファミリー・サポート・センターうたづ	15
コムコムひろば・あやうた (2 回)	42	西春日保育所	10
さくら太田保育園	9	ベビーマッサージこまめ	11
さぬき市ファミリー・サポート・センター (2 回)	23	丸亀市東小川児童センター	15
さぬき市立志度幼稚園	47	丸亀市ファミリー・サポート・センター (2 回)	21
社会福祉法人イエス団 神愛館	29	まんのう町買田老人クラブ	30
善通寺市南部公民館	40	三木町児童安全対策協議会	42
高松市香南こども園	40	みとよファミリー・サポート・センター	13
高松市子育て支援課	40	みどり栗林公園保育園 (2 回)	30
高松市赤十字奉仕団檀紙分団	80	みのり保育園	110
高松市赤十字奉仕団築地分団	2	むれコミュニティ協議会	10
たかまつファミリー・サポート・センター (4 回)	71	わはは・ひろば香西	11
つくし幼稚園	10	わはは・ひろば高松	16
直島町立直島幼児学園	9	わははネット	96
中野保育園	20	計 56 回	1,430



赤十字健康生活支援講習指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における赤十字健康生活支援講習の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時 令和元年 11 月 30 日 (土) 説明会
- 令和元年 12 月 1 日 (日) 事前研修会
- 令和 2 年 1 月 11 日 (土) ~ 13 日 (月・祝) 養成講習会
- 1 月 18 日 (土) ~ 19 日 (日) //
- 令和 2 年 2 月 15 日 (土) ~ 16 日 (日) 事後研修会
- 場 所 日本赤十字社香川県支部 ボランティア室等
- 養成人員 14 人





赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。

この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

組織及び団員数 17団（8市9町） 11,239人

区 分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	10	11	8	15	10	7	9	10	3	46	170分団
団員数	1,106	1,986	1,046	358	369	290	420	912	919	85	3,748	11,239人

主な活動内容

- ①会員増強に関する活動
- ②災害救護に関する活動
- ③救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④赤十字病院における活動
- ⑤献血推進に関する活動
- ⑥青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦社会福祉に関する活動
- ⑧その他



研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加者(対象)	参加人数
本 社	赤十字奉仕団中央委員会	5月30日～31日	東京都・日赤本社	支部委員会 委員長	1
	赤十字ボランティア・リーダー研修会	8月24日～26日	東京都・国立オリンピック記念青少年総合センター	観音寺市	1
	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	2月 4日～ 6日	東京都・日赤本社	安全奉仕団副委員長	1
ブロック	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	11月14日～15日	島根県	丸亀市、東かがわ市、綾歌郡	3
支 部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月15日	日赤香川県支部	支部委員	13
	赤十字奉仕団委員長会議	6月12日	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長・副委員長等、地区区分担当者	66
	世界救急法の日記念イベント	9月14日	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員等	82
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月25日	日赤香川県支部	支部委員	13
	赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会	11月25日～26日	休暇村讃岐五色台	各地区・分区奉仕団員	34
	赤十字奉仕団基礎研修会	2月10日	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員等	132

研修会の開催

○赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会

- ・ 日 時 令和元年11月25日(月)～26日(火)
- ・ 場 所 休暇村讃岐五色台
- ・ 参 加 者 県内赤十字奉仕団中堅リーダー及び将来リーダーとなる者 34人
- ・ 研修内容
 - 赤十字と赤十字事業
 - 災害時の取り組み
 - 赤十字講習体験
 - 各奉仕団の活動状況の情報交換
 - 非常食作り体験



○赤十字奉仕団基礎研修会

- ・日 時 令和2年2月10日(月) 10:00～14:30
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター 7階大会議室
- ・参 加 者 各市町赤十字奉仕団員等 132人
- ・研修内容 講義／「赤十字の使命と活動」
講演／「高度急性期医療を担う本館北タワーの役割」
講師／高松赤十字病院 総合血管治療センター
センター長 特任参与 西村 和修 氏



○地区・分区别赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。

また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

- ・研修内容 ○赤十字とボランティア ○赤十字と災害救護 ○赤十字防災ボランティア
○非常食の炊き出し ○応急手当等



■ モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年3団を指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- ・指 定 期 間 3年間
- ・指定奉仕団数 毎年3団以内
- ・重点活動内容 ①地域高齢者支援活動
②児童の健全育成活動
③非常災害に対する地域防災活動
④会員増強に関する特色ある活動
⑤その他必要な活動

指定年度	奉仕団名	活動内容
平成29年度	高松市赤十字奉仕団川岡分団	非常災害に対する地域防災活動
平成30年度	観音寺市赤十字奉仕団大野原分団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動
令和元年度	東かがわ市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動
	まんのう町赤十字奉仕団吉野分団	非常災害に対する地域防災活動



● 青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

■ 組織及び団員数 9団 406人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団

■ 主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②NHK海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事（各種イベント等）への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加



研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加人数
本 社	青年赤十字奉仕団全国協議会・赤十字ユース委員会	4月20日～21日	東京都・日赤本社	1
	赤十字ユース委員会	1月12日～13日	東京都・日赤本社	1
ブロック	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月 1日～ 2日	愛媛県	4
	中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	8月23日～25日	鳥取県	2
支 部 ・ 協議会	青年赤十字奉仕団香川県支部連絡協議会総会	4月27日	支部ボランティア室	31
	赤十字フェスタ	4月28日	高松丸亀町香番街前ドーム広場	44
	献血キャンペーン@丸亀お城まつり	5月 4日	丸亀市保健福祉センター	8
	坂出自動車学校イベント	6月 2日	坂出自動車学校	17
	1日血液センター所長イベント	7月 6日	イオンモール高松	6
	リラクゼーション研修会	7月 7日	支部ボランティア室	1
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 3日～ 5日	五色台少年自然センター	8
	世界救急法の日記念イベント	9月14日	香川県社会総合福祉センター	4
	防災キャンプ in 南川	9月28日～29日	さぬき市南川自然の家	11
	リラクゼーション研修会	10月 5日	支部ボランティア室	1
	NHK 海外たすけあいキャンペーン	12月 7日	高松市内	14
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月21日	献血ルーム「オリーブ」	19
	防災ボランティア実践研修会	1月25日	香川県青年センター	16



特殊奉仕団

香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人々によって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1 団 29 人
- ②主 な 活 動 内 容
 - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
 - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加
 - 香川県総合防災訓練参加



香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1 団 142 人
- ②主 な 活 動 内 容
 - 救急法等講習普及活動
 - 支部実施行事（各種イベント等）への協力
 - 団員研修・交流



○赤十字安全奉仕団一泊研修会（防災キャンプ2019）の開催

- ・日 時 令和元年9月28日(土)～29日(日)
- ・場 所 さぬき市南川自然の家
- ・内 容
 - ・赤十字奉仕団員同士の交流と親睦
 - ・発電機取扱・ロープワークの習得
 - ・作って食べよう(サバイバル飯・竹から作る流しそうめん)
 - ・自然を探そう
- ・参 加 者 42 人



○赤十字安全奉仕団研修会開催

- 日 時 令和元年12月14日(土)
 - 場 所 日本赤十字社香川県支部ボランティア室
 - 内 容
 - ①KYT(危険予知トレーニング)
株式会社タダノ営業業務部 アシスタントマネージャー 奥村 英人 氏
 - ②救護シミュレーション(FC:指揮命令、S:安全性、C:情報伝達、A:評価)に基づいて)
- 日本赤十字社香川県支部
- 参 加 者 45人



■ 香川県赤十字奉仕団 “ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的の高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間でも、そばに寄り添い、静かに話に耳を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい手のぬくもりと笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

①組織及び団員数 1団 46人

②主な活動内容

- 施設へのケアサービス提供
(10回、参加ボランティア数111人)
- 団員研修会の開催
(2回、参加者21人)
- 平成30年7月豪雨災害
被災地支援活動 6人
- 団員の増強とケアサービスの普及、充実
- 支部実施行事(各種イベント等)への協力

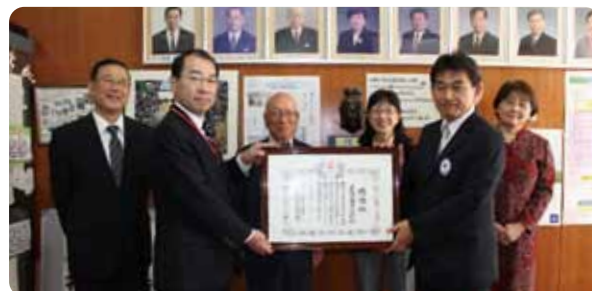
■ 香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

①組織及び団員数 1団 93人

②主な活動内容

- 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
- 青少年赤十字加盟校への協力
- 香川県教育委員会への働きかけ
- 校長会・園長会等への働きかけ
- 地域赤十字奉仕団との連携



■ 香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しております。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

①組織及び団員数 1団 23人

②主な活動内容

- 支部実施行事(各種イベント等)への協力
- 団員研修・交流



青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・こども園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約1万4千校、340万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

加盟状況

区分	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	45	151	150	70	41	9	466
メンバー数	4,357	12,539	37,898	22,357	16,212	1,042	94,405

加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	22	高松市立鬼無保育所	150	坂出市立川津愛児園	76
高松市立扇町保育所	136	高松市立三谷保育所	112	坂出市立松山保育園	80
高松市立宮脇保育所	39	高松市立多肥保育所	141	坂出市立江尻保育所	59
高松市立松島保育所	125	高松市立林保育所	149	坂出市立府中保育所	61
高松市立福岡保育所	58	高松市立川島保育所	150	坂出市立西部保育所	26
高松市立桜町保育所	162	高松市立西植田保育所	47	坂出市立南部保育所	120
高松市立立村保育所	42	高松市立東植田保育所	23	坂出市立加茂保育所	66
高松市立鶴尾保育所	9	高松市立大野保育所	180	育愛館	142
高松市立太田保育所	145	高松市立浅野保育所	114	豊城福祉会坂出保育園	88
高松市立木太保育所	147	高松市立川東南保育所	11	林田保育園	100
高松市立古高松保育所	180	高松市立国分寺北部保育所	127	みどり保育園	135
高松市立屋島保育所	128	高松市立国分寺南部保育所	104	愛集苑保育所	21
高松市立下笠居西部保育所	13	高松市立牟礼保育所	117	さぬき市立長尾保育所	97
高松市立下笠居東部保育所	30	高松市立田井保育所	56	計45所	4,357
高松市立香西保育所	190	松福福祉会城東保育園	119		
高松市立弦打保育所	156	こぶし花園保育園	104		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	28	栗林学園栗林幼稚園	277	ルンビニ幼稚園	46
高松市立前田幼稚園	14	二番丁学園二番丁幼稚園	141	※ きんかこども園	154
高松市立川添幼稚園	33	亀阜学園亀阜幼稚園	138	坂出一高幼稚園	129
高松市立林幼稚園	98	高松学園高松幼稚園	191	善通寺市立西部幼稚園	51
高松市立三溪幼稚園	53	屋島教会学園屋島教会幼稚園	87	善通寺市立南部幼稚園	63
高松市立香西幼稚園	51	聖母学園高松聖母幼稚園	43	善通寺市立東部幼稚園	75
高松市立一宮幼稚園	46	聖母学園桜町聖母幼稚園	178	善通寺市立与北幼稚園	9
高松市立多肥幼稚園	44	相愛学園相愛幼稚園	225	善通寺市立竜川幼稚園	176
高松市立川岡幼稚園	24	小山学園愛育幼稚園	55	善通寺市立筆岡幼稚園	75
高松市立門座幼稚園	37	青空幼稚園	143	善通寺市立吉原幼稚園	70
高松市立檀紙幼稚園	45	百華学園太田百華幼稚園	259	聖母学園善通寺聖母幼稚園	46
高松市立弦打幼稚園	30	光華学園光華幼稚園	160	観音寺市立観音寺幼稚園	163
高松市立鬼無幼稚園	27	新田学園新田幼稚園	139	※ 観音寺市立観音寺中央幼稚園	136
高松市立下笠居こども園	75	らく楽寺井幼稚園	218	観音寺市立大野原幼稚園	242
高松市立木太幼稚園	82	国東学園くにとう幼稚園	336	観音寺市立豊浜幼稚園	114
高松市立山田幼稚園	49	やしま学園やしま幼稚園	276	聖母学園観音寺聖母幼稚園	111
高松市立春日幼稚園	22	認定こども園つくし幼稚園	84	※ さぬき市立津田こども園	123
高松市立木太北部幼稚園	52	まゆみ学園まゆみ幼稚園	102	さぬき市立さぬき南幼稚園	64
高松市庵治こども園	102	認定こども園サンシャインこどもの森	85	さぬき市立志度幼稚園	64
高松市塩江こども園	47	中野保育所	155	さぬき市立さぬき北幼稚園	16
高松市はらこども園	149	花ノ宮こども園	99	さぬき市立寒川幼稚園	41
高松市立栗山幼稚園	62	丸亀市立西幼稚園	70	さぬき市立長尾幼稚園	55
高松市立田井幼稚園	12	丸亀市立城坤幼稚園	92	さぬき市立造田幼稚園	29
高松市立大町幼稚園	12	丸亀市立城東幼稚園	100	聖母学園長尾聖母幼稚園	33
高松市立大野幼稚園	39	丸亀市立城辰幼稚園	46	※ 東かがわ市立引田こども園	104
高松市立浅野幼稚園	30	※ 丸亀市立郡家こども園	180	※ 東かがわ市立本町幼稚園	30
高松市川東こども園	120	丸亀市立あやうたこども園	98	東かがわ市丹生こども園	54
高松市香南こども園	208	丸亀市立飯山こども園	161	三豊市立二ノ宮幼稚園	15
高松市立国分寺北部幼稚園	101	聖母学園丸亀聖母幼稚園	95	三豊市立比地二幼稚園	47
高松市立国分寺南部幼稚園	98	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	229	三豊市立上高瀬幼稚園	67
高松中央高校幼稚園	65	香川大学教育学部附属幼稚園	78	三豊市立勝間幼稚園	45
ときわ幼稚園	101	坂出市立坂出中央幼稚園	72	三豊市立麻幼稚園	14
高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	212	坂出市立林田幼稚園	36	三豊市立辻幼稚園	26
高松聖ヤコブ幼稚園	115	坂出市立加茂幼稚園	16	三豊市立河内幼稚園	8
四国高松学園高松東幼稚園	114	坂出市立府中幼稚園	3	三豊市立大野幼稚園	29
香川県百華学園 勅使百華幼稚園	223	坂出市立川津幼稚園	20	三豊市立吉津幼稚園	49
のぞみ幼稚園	111	坂出市立松山幼稚園	17	三豊市立下高瀬幼稚園	41



学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
三豊市立大見幼稚園	41	小豆島町立苗羽幼稚園	14	まんのう町立高篠こども園	64
三豊市立豊中幼稚園	248	小豆島町立旭幼稚園	8	まんのう町立四条こども園	72
三豊市立詫間幼稚園	83	小豆島町立福田幼稚園	5	まんのう町立満濃南こども園	178
三豊市立松崎幼稚園	22	小豆島町立小豆島こどもセンター	115	まんのう町立長炭こども園	88
三豊市立平石幼稚園	61	三木町立ししの子幼稚園	109	まんのう町立仲南こども園	70
三豊市立曾保幼稚園	3	三木町立田中幼稚園	10	まんのう町立琴南こども園	38
三豊市立財田幼稚園	58	三木町立氷上幼稚園	67	琴平町立南幼稚園	24
※ 土庄町立土庄こども園	174	三木町立白山幼稚園	26	琴平町立北幼稚園	40
※ 土庄町立大舞こども園	35	三木学園おおば幼稚園	131	多度津町立四箇幼稚園	48
※ 土庄町立大部こども園	10	直島町立直島幼児学園	68	多度津町立白方幼稚園	7
※ 土庄町立北浦こども園	25	宇多津町立宇多津幼稚園	81	多度津町立豊原幼稚園	78
※ 土庄町立四海こども園	29	綾川町立粉所幼稚園	7	多度津町立多度津幼稚園	38
小豆島町立星城幼稚園	20	青山幼稚園	131	計 151 所	12,539
小豆島町立安田幼稚園	25	香川短期大学附属幼稚園	139		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	610	丸亀市立城西小学校	507	三豊市立比地小学校	153
高松市立新番丁小学校	17	丸亀市立城南小学校	626	※ 三豊市立上高瀬小学校	214
高松市立亀阜小学校	12	丸亀市立城東小学校	14	三豊市立勝間小学校	147
高松市立栗林小学校	22	丸亀市立城辰小学校	363	三豊市立麻小学校	145
※ 高松市立花園小学校	256	丸亀市立本島小学校	6	三豊市立山本小学校	321
高松市立高松第一小学校	641	丸亀市立郡家小学校	792	三豊市立吉津小学校	151
高松市立鶴尾小学校	39	丸亀市立飯津小学校	319	三豊市立下高瀬小学校	184
高松市立太田小学校	763	丸亀市立垂水小学校	363	三豊市立大見小学校	51
高松市立木太小学校	454	丸亀市立小島小学校	1	三豊市立桑山小学校	114
高松市立古高松小学校	534	丸亀市立富熊小学校	205	三豊市立笠田小学校	120
高松市立屋島小学校	398	丸亀市立栗熊小学校	133	三豊市立山本小学校	127
高松市立前田小学校	205	丸亀市立岡田小学校	10	三豊市立上高野小学校	84
高松市立川添小学校	450	丸亀市立飯山北小学校	621	三豊市立比地大小学校	108
高松市立林小学校	151	丸亀市立飯山南小学校	347	三豊市立詫間小学校	460
高松市立三溪小学校	487	香川大学教育学部附属坂出小学校	414	三豊市立松崎小学校	14
高松市立仏生山小学校	535	坂出市立坂出小学校	561	三豊市立仁尾小学校	231
高松市立香西小学校	514	坂出市立東部小学校	379	三豊市立曾保小学校	12
高松市立一宮小学校	689	坂出市立金山小学校	39	土庄町立土庄小学校	518
高松市立多肥小学校	24	坂出市立西庄小学校	54	土庄町立豊島小学校	21
高松市立川岡小学校	301	坂出市立林田小学校	305	小豆島町立星城小学校	124
高松市立円座小学校	713	坂出市立加茂小学校	214	小豆島町立安田小学校	142
高松市立檀紙小学校	584	坂出市立府中小学校	126	小豆島町立苗羽小学校	6
高松市立弦打小学校	511	坂出市立川津小学校	10	小豆島町立池田小学校	159
高松市立鬼無小学校	8	坂出市立松山小学校	175	三木町立平井小学校	573
高松市立下笠居小学校	236	坂出市立瀬居小学校	14	三木町立田中小学校	101
高松市立男木小学校	4	善通寺市立東部小学校	271	三木町立氷上小学校	539
高松市立川島小学校	468	善通寺市立中央小学校	218	三木町立白山小学校	18
高松市立十河小学校	99	善通寺市立西部小学校	157	直島町立直島小学校	7
高松市立東植田小学校	33	善通寺市立南部小学校	165	宇多津町立宇多津小学校	417
高松市立植田小学校	87	善通寺市立筆岡小学校	209	宇多津町立宇多津北小学校	599
高松市立中央小学校	924	観音寺市立観音寺小学校	563	綾川町立綾上小学校	6
高松市立太田南小学校	992	観音寺市立伊吹小学校	7	綾川町立昭和小学校	231
高松市立木太南小学校	211	観音寺市立高室小学校	125	綾川町立陶小学校	101
高松市立古高松南小学校	688	観音寺市立常磐小学校	374	綾川町立滝宮小学校	353
高松市立屋島東小学校	22	観音寺市立栗井小学校	70	綾川町立羽床小学校	4
高松市立屋島西小学校	380	観音寺市立柞田小学校	454	まんのう町立琴南小学校	67
高松市立木太北部小学校	398	観音寺市立一ノ谷小学校	275	まんのう町立高篠小学校	184
高松市立堀江小学校	69	観音寺市立大野原小学校	541	まんのう町立四条小学校	237
高松市立庵治小学校	167	観音寺市立豊浜小学校	343	まんのう町立満濃南小学校	212
高松市立牟礼小学校	299	さぬき市立津田小学校	189	まんのう町立長炭小学校	98
高松市立牟礼北小学校	430	さぬき市立さぬき南小学校	243	まんのう町立仲南小学校	190
高松市立牟礼南小学校	211	さぬき市立志度小学校	512	琴平町立琴平小学校	126
高松市立大野小学校	14	さぬき市立さぬき北小学校	8	琴平町立榎井小学校	90
高松市立浅野小学校	14	さぬき市立長尾小学校	438	※ 琴平町立象郷小学校	138
高松市立川東小学校	16	さぬき市立造田小学校	182	多度津町立四箇小学校	324
高松市立香南小学校	6	東かがわ市立引田小学校	221	多度津町立白方小学校	5
高松市立国分寺北部小学校	16	東かがわ市立本町小学校	170	多度津町立豊原小学校	453
高松市立国分寺南部小学校	231	東かがわ市立白鳥小学校	148	多度津町立多度津小学校	273
丸亀市立城乾小学校	235	東かがわ市立福栄小学校	37	計 150 所	37,898
丸亀市立城坤小学校	654	東かがわ市立大内小学校	528		
丸亀市立城北小学校	8	三豊市立二ノ宮小学校	70		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松中学校	328	高松市立勝賀中学校	680	高松市立庵治中学校	84
香川県立高松北中学校	328	高松市立一宮中学校	357	高松市立牟礼中学校	421
高松市立桜町中学校	772	高松市立香東中学校	759	高松市立香川第一中学校	197
高松市立紫雲中学校	658	高松市立下笠居中学校	123	高松市立香南中学校	176
高松市立玉藻中学校	560	高松市立男木中学校	1	高松市立国分寺中学校	689
高松市立高松第一中学校	301	高松市立山田中学校	586	丸亀市立東中学校	656
高松市立鶴尾中学校	7	高松市立太田中学校	682	丸亀市立西中学校	752
高松市立屋島中学校	510	高松市立古高松中学校	566	丸亀市立南中学校	707
高松市立協和中学校	645	高松市立木太中学校	753	丸亀市立本島中学校	6
高松市立龍雲中学校	18	高松市立堀江中学校	57	丸亀市立綾歌中学校	304

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
丸亀市立飯山中学校	460	さぬき市立志度中学校	420	三木町立三木中学校	40
香川大学教育学部附属坂出中学校	329	さぬき市立長尾中学校	307	直島町立直島中学校	54
坂出市立坂出中学校	10	東かがわ市立引田中学校	129	宇多津町立宇多津中学校	491
坂出市立東部中学校	18	東かがわ市立白鳥中学校	207	綾川町立綾上中学校	91
坂出市立白峰中学校	473	東かがわ市立大川中学校	301	綾川町立綾南中学校	477
坂出市立瀬居中学校	17	三豊市立三豊津中学校	250	まんのう町立満濃中学校	458
坂出市立岩黒中学校	1	三豊市立豊中中学校	286	琴平町立琴平中学校	167
善通寺市立西中学校	270	三豊市立詫間中学校	287	多度津町立多度津中学校	549
観音寺市立観音寺中学校	282	三豊市立仁尾中学校	156	大手前高松中学校	135
観音寺市立中部中学校	488	三豊市立和光中学校	100	香川誠陵中学校	196
観音寺市立伊吹中学校	8	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	348	大手前丸亀中学校	302
観音寺市立大野原中学校	265	土庄町立土庄中学校	271	香川県藤井中学校	335
観音寺市立豊浜中学校	6	土庄町立豊島中学校	12	計 70 所	22,357
さぬき市立さぬき南中学校	388	小豆島町立小豆島中学校	290		

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立小豆島中央高等学校	507	香川県立香川中央高等学校	44	高松市立高松第一高等学校	909
香川県立三本松高等学校	24	香川県立農業経営高等学校	331	藤井学園寒川高等学校	567
香川県立津田高等学校	350	香川県立坂出商業高等学校	513	高松中央高等学校	34
香川県立志度高等学校	362	香川県立坂出高等学校	779	英明高等学校	509
香川県立石田高等学校	350	香川県立坂出工業高等学校	403	大手前高松高等学校	563
香川県立三木高等学校	487	香川県立飯山高等学校	68	香川誠陵高等学校	334
香川県立高松北高等学校	48	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	419
香川県立高松高等学校	320	香川県立丸亀城西高等学校	627	大手前丸亀高等学校	344
香川県立高松工業高等学校	16	香川県立善通寺第一高等学校	658	香川県藤井高等学校	435
香川県立高松商業高等学校	956	香川県立琴平高等学校	586	尽誠学園高等学校	696
香川県立高松東高等学校	715	香川県立多度津高等学校	599	四国学院大学香川西高等学校	20
香川県立高松南高等学校	70	香川県立笠田高等学校	354	禅林学園高等学校	56
香川県立高松西高等学校	838	香川県立高瀬高等学校	423	香川高等専門学校詫間キャンパス	1
香川県立高松桜井高等学校	836	香川県立観音寺総合高等学校	33	計 41 所	16,212

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立盲学校	17	香川県立高松養護学校	117	香川大学教育学部附属特別支援学校	59
香川県立聾学校	32	香川県立香川丸亀養護学校	243	計 9 所	1,042
香川県立香川東部養護学校	5	香川県立善通寺養護学校	123		
香川県立香川中部養護学校	352	香川県立香川西部養護学校	94		



研修行事の開催と参加状況

主 催	行 事 名	月 日	場 所	参加人員	参加者 (対象)
本 社	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	5月24日～26日	東京都・国立オリンピック記念青少年総合センター	1	指導者
	全国指導者協議会総会・研修会	6月24日～25日	東京都・日赤本社	1	指導者協議会長
	全国賛助奉仕団協議会総会	7月 9日～10日	東京都・日赤本社	1	賛助奉仕団委員長
	指導者中央講習会(隔年開催)	11月23日	東京都・日赤本社	1	指導者
	指導主事対象研究会	1月 9日	東京都・日赤本社	1	指導主事
	スタディー・センター	3月22日～26日	山梨県・山中湖村東照館	※	高校生メンバー
ブロック	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月10日～11日	徳島県	3	中・四国賛助奉仕団員
	中国・四国ブロック指導者協議会	10月17日～18日	愛媛県	2	指導者協議会役員・支部職員
支 部 ・ 協議会	香川県指導者協議会役員会	4月24日	日赤香川県支部	10	指導者協議会役員
	香川県賛助奉仕団役員会	4月24日	香川県社会福祉総合センター	4	賛助奉仕団役員
	赤十字フェスタ(世界赤十字デー周知キャンペーン)	4月28日	高松丸亀町老番街前ドーム広場	45	青少年赤十字メンバー
	香川県賛助奉仕団総会	5月17日	天勝	13	賛助奉仕団員
	香川県指導者研修会	6月20日	香川県社会福祉総合センター	28	指導者
	リーダーシップ・トレーニング・センター企画運営委員会	6月 7日	日赤香川県支部	7	企画運営委員
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会	7月 4日	日赤香川県支部	18	指導者
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月 3日～ 5日	香川県立五色台少年自然センター	95	小・中・高メンバー、指導者
	香川県指導者協議会役員会	10月 4日	日赤香川県支部	5	指導者協議会役員
	香川県賛助奉仕団役員会	10月 4日	香川県社会福祉総合センター	6	賛助奉仕団役員
	研究発表会	11月13日	多度津町立豊原小学校	181	指導者等
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会(反省会)	11月15日	日赤香川県支部	9	指導者
	日本赤十字社香川支部創設130周年記念赤十字大会	11月23日	香川県社会福祉総合センター	250	赤十字関係者
	香川県指導者協議会役員会	3月19日	日赤香川県支部	7	指導者協議会役員
	香川県賛助奉仕団役員会	3月19日	香川県社会福祉総合センター	8	賛助奉仕団役員

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

■ 青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催することとしており、令和元年度においては、次のとおり開催しました。

- ・日 時 令和元年6月20日(木) 14:00～16:00
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室
- ・講演内容 演題／「学校教育と青少年赤十字、幼稚園・保育所向け防災教材」
講師／藤枝 大輔 氏
(日本赤十字社 事業局 パートナースHIP推進部
ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課長)
- ・参 加 者 28人(青少年赤十字加盟校指導者等)



■ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

リーダーとなる児童・生徒の養成を目的として知識、技術、態度の面から、赤十字と青少年赤十字について集中的に学習をすすめました。

特に、“なすことをもって学ぶ” 集団生活の活動体験を通して、自主性を養い、学校や地域社会に役立つ青少年の育成を目指しました。

- ・日 時 令和元年8月3日(土)～5日(月)
- ・場 所 香川県立五色台少年自然センター
- ・学習活動 ①赤十字について(歴史、組織、事業、原則、標章等)
②青少年赤十字について(歴史、活動等)
③体験学習(健康安全プログラム等)
④ボランティア・サービスの実践
⑤グループ・ワーク学習(ワーク・ショップ)
- ・参 加 者 95人(小・中・高メンバー、指導者、スタッフ)



■ 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。

指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
平成30年度	平成30年度～令和元年度	心をそろえ 学びをつなぐ 子どもの育成 ～気づき 考え 実行する 豊原っ子～	多度津町立豊原小学校
令和元年度	令和元年度～令和2年度	「気づき・考え・実行する」子どもの育成 ～まちづくり科・道徳教育を核として～	琴平町立榎井小学校

■ 研究発表会の開催

- ・日 時 令和元年11月13日(水) 13:45～16:30
- ・開 催 校 多度津町立豊原小学校
- ・参 加 者 教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等 181人





高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC(包括医療支払制度)への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」、MRI3テスラ、最新鋭320列CTの導入や、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)の認定等、診療機能の強化を図ってきました。

令和元年12月には本館北タワーが完成し、令和2年4月からの本格稼働にあわせ、高度医療機器を整備拡充しており、更なる診療機能の強化、業務の効率化を図り、高度専門医療を提供する公的病院として質の高い医療の提供に努めています。



■ 病床数 576床(一般病床568床 結核病床8床)

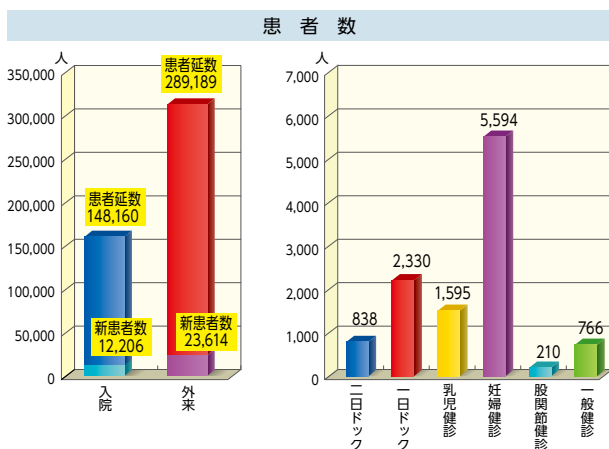
■ 診療科目

- | | | | | | | |
|--------|--------------|--------------|---------|---------|-----------|----------|
| ■ 血液内科 | ■ 腎臓内科 | ■ 内分泌・代謝内科 | ■ 消化器内科 | ■ 循環器内科 | ■ 神経内科 | ■ 呼吸器内科 |
| ■ 小児科 | ■ 消化器外科 | ■ 胸部・乳腺外科 | ■ 小児外科 | ■ 脳神経外科 | ■ 心臓血管外科 | ■ 整形外科 |
| ■ 皮膚科 | ■ 泌尿器科 | ■ 腎臓外科(臓器移植) | ■ 産婦人科 | ■ 眼科 | ■ 耳鼻いんこう科 | ■ 歯科口腔外科 |
| ■ 精神科 | ■ リハビリテーション科 | | ■ 麻酔科 | ■ 放射線科 | ■ 病理診断科 | |

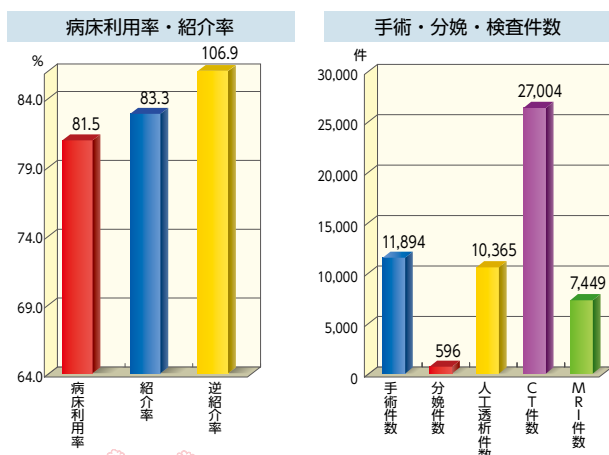
■ 職員数 (令和2年3月31日現在)

- | | |
|----------------|-------------|
| ■ 医師 188人 | ■ 医療技師 174人 |
| ■ 看護師・助産師 554人 | ■ 事務職員 185人 |
| ■ その他職員 65人 | |

■ 業務実績 (令和元年度)



一日平均入院患者数	404.8人
一日平均外来患者数	1,205.0人
平均在院日数	11.8日



■ 主な指定、施設基準

- 災害拠点病院(地域災害医療センター)
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 7対1入院基本料
- 総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1
- 特定集中治療室管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1 15対1
- 急性期看護補助体制加算25対1
- 無菌治療室管理加算1

■ その他認定取得

- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- ホスピレート(病院就労環境評価・認証)
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関

■ 医療の質の向上

- ① 医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導体制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
令和元年度 初期14名、後期5名
 - 腫瘍内科外来の開設
 - 医師事務支援体制の充実(医師の外来業務負担軽減)
令和2年3月31日現在、外来クラーク35名
- ② 看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
令和元年度新人看護師36名(助産師1名を含む)
 - 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
令和2年3月31日現在 認定看護師28名
専門看護師 2名
 - 特定行為研修修了看護師の配置
令和2年3月31日現在 9名
 - 病棟クラーク(看護業務の事務支援スタッフ)の拡充
令和2年3月31日現在 9名
 - 診療報酬担当看護師の育成
令和2年3月31日現在 14名

③医療スタッフの育成と確保

- 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
- 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
- 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
- 超音波診療センターの体制整備、機能の拡充
- 作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、言語療法士(ST)による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの完全実施、日、祝日リハビリの拡充
- 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
- 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
- 介護福祉士の重点配置

④チーム医療の推進

- 多職種参加研修会、講演会等の開催
- モーニングセミナー、ランチョンセミナーの継続的開催
- チーム医療への事務職員の積極的な参画

⑤地域医療支援病院としての認定維持と病診・病病連携の強化

- 医療社会事業部のマンパワーの強化と機能拡充
- 地域連携の前方・後方・双方の支援体制強化
- 逆紹介の推進(令和元年度逆紹介率106.9%)
- 入退院センターの多職種による機能強化
- 地域連携機関とのホットラインの運用強化(循環器内科、脳神経外科、泌尿器科等)
- 患者相談支援センターの拡充
- 地域連携ニュース(医師向け)及び患者図書室広報誌「こもれび」(患者向け)の継続発行
- 高松赤十字病院登録医制度の拡充、運用の推進

⑥地域がん診療連携拠点病院としての地域の医療機関との連携強化

- 地域連携パスの推進
- セカンドオピニオン外来の推進
- 緩和医療の推進

⑦救急医療の充実

- 三次救急医療認定取得に向けての施設整備と実績の蓄積
- 救急医療スタッフの拡充
- 24時間診療体制の維持
- ドクターカーの有効活用
- 救急車の受入強化、応需率の向上
- 救急隊との連携強化(合同勉強会開催)
- 日直業務体制の強化

⑧周産期医療並びに小児医療の強化

- 地域周産期母子医療センターとしての運営強化
- 助産師外来の拡充

⑨高度医療・先進医療の推進

- 泌尿器科、消化器外科、胸部・乳腺外科、産婦人科等による手術支援ロボット「ダヴィンチ」の運用強化と拡充
- 「生殖医療センター」の体制整備、生殖医療の推進

⑩診療の質の充実

- クリニカルインジケターの活用
- 診療録管理体制の強化
- 検査部門における国際規格(ISO15189)の取得(令和2年3月5日)

⑪医療安全管理体制の強化

- 医療事故の防止体制強化
- 医療事故調査制度に対応した院内事故発生時のマニュアル整備

■医療安全の研修会参加

- 研修、セミナー、ワークショップを活用した医療安全の推進
- インシデント(事件)、アクシデント(事故)報告の徹底

⑫院内感染防止対策の強化

- 新採用職員に対する院内感染対策の基本的知識の啓発継続
- 講習会、研修会での職員に対する教育の徹底

⑬救護救療体制の確保

- 医療救護活動の体制強化
- 災害対策マニュアルの再検討
- 他の医療機関、企業や周辺地域との大規模災害時の応援体制づくり
- 全職員の参加による大規模災害を想定した訓練、関係諸機関と連携した訓練の実施 令和2年1月17日(金)

⑭広報の充実

- 病院情報の各医療機関、地域住民への発信拡充
- 医師、看護師等の職員確保に向けたリクルート情報の発信、SNSの活用
- 「診療のご案内」の各医療機関への配布
- メールマガジン読者拡大と医療関係者へ向けての配信

■患者サービスの向上

①女性外来の推進、拡充

- 女性医師を中心としたプライバシーに配慮した診療体制(産婦人科(火)、泌尿器科(水)、胸部・乳腺外科(金))

②患者への情報提供の推進

- ホームページ(全面リニューアル)、広報誌「なんがでっきよん」の充実
- 患者図書室の有効活用
- 院内情報配信システムの有効活用
- 市民・県民に向けた健康維持の公開講座(健康講話十二講)

③接遇能力の向上

- 職員の接遇研修の強化
- 患者満足度調査の実施
- ご意見箱の設置

④待ち時間の短縮

- ホスピジョン(患者番号案内表示システム)、「まもなくコール」の活用
- 予約時間の徹底、新患外来の推進

⑤人間ドックの充実

⑥病院へのアクセス改善

- 日赤シャトルバス

⑦コンシェルジュの適正配置

⑧看護師による退院前後患者訪問の推進

■診療基盤の整備

- ①本館北タワーの完成とその有効活用に向けて準備作業の実施
- ②高度医療機器の更新並びに必要な医療機器の新規導入による診療機能の向上
- ③夜間、休日を含む緊急手術体制の強化
- ④ハイブリッド手術室の充実した運用
- ⑤本館(本8、9、10病棟)と無菌病室の効果的運用
- ⑥増床後のHCU病室の効果的運用
- ⑦CCU病床の運用開始
- ⑧センター化による効果的・効率的な病床並びに外来運営



ヘリポート



高精度放射線治療装置(リニアック装置)



PET-CT

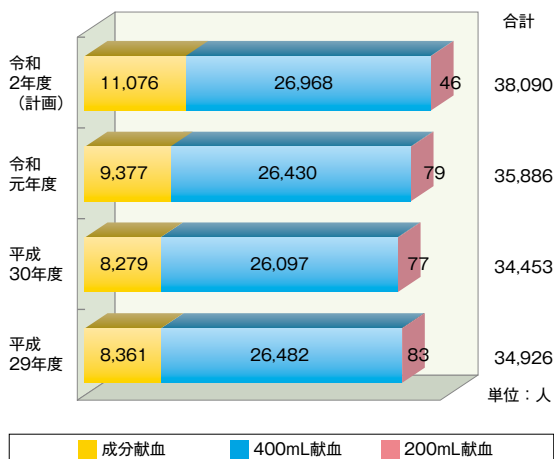


院内災害訓練

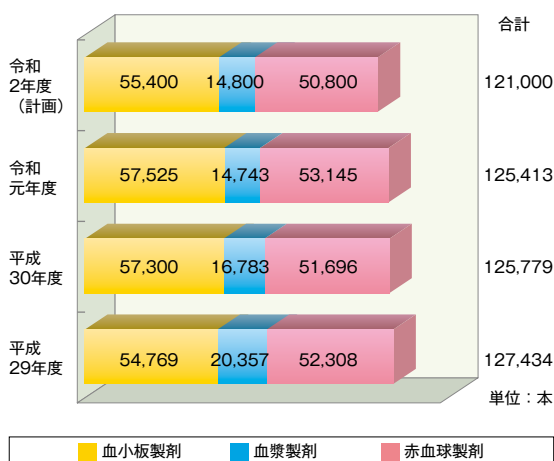


「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

1. 県内献血実績



2. 県内輸血用血液供給実績 (200mL換算本数)



3. 献血稼働実績

	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
令和2年度(計画)	357台	55.0人	363日	50.0人
令和元年度	312台	57.7人	361日	49.6人
平成30年度	312台	55.5人	354日	48.4人
平成29年度	319台	55.7人	359日	47.8人

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1
TEL 087-881-1500

献血ルーム「オリーブ」

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3
高松丸亀町参番街東館3F
TEL 087-821-2300

4. 「愛の血液助け合い運動」

日本赤十字社では、広く国民各層に献血思想の普及を図ることを目的として、7月の1ヵ月間「愛の血液助け合い運動」を展開しました。本県においても7月・8月の2ヵ月を「愛の血液助け合い運動」月間とし、令和元年7月6日にはシンガーソングライターのmimikaさんに「一日血液センター所長」を委嘱し、街頭での献血啓発を行い献血推進を県民運動として盛り上げました。また、より一層の推進を図るため令和元年7月29日、香川県庁において香川県献血運動推進大会を開催しました。

5. 「全国学生クリスマス献血キャンペーン」

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、アイデアを凝らしたイベントを令和元年12月21日から25日にかけて実施しました。

6. 「はたちの献血キャンペーン」

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、令和2年1月1日から2月29日までの2ヵ月間、成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方を中心にキャンペーンを実施しました。

7. 「若年層への普及啓発」

少子高齢化による献血者減少に対応するため、将来の献血を担う若年層を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前講座」及び「小学生親子血液センター見学教室」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

8. 「複数回献血者の確保」

安全な血液を安定的に確保するため、複数回献血登録者（年間複数回献血者）を募集しました。複数回献血登録者にはメールにより、イベント情報等のお知らせや輸血用血液が不足しがちな時期に献血依頼を発信しました。

9. 「低ヘモグロビン血者等に対する健康相談事業」

低ヘモグロビン血で献血ができなかった方に栄養士が食事・生活面について指導し、再度献血にご協力いただくために栄養相談を実施しました。また、他の理由により献血できなかった方にも、健康維持・促進を図り献血への協力を得るために健康相談を実施しました。

10. 「献血協賛企業活動の推進」

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

11. 「各種媒体による広報」

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。



社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

赤十字思想の普及

「赤十字フェスタ2019」の開催

5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ」を開催することとしており、令和元年度においては、次のとおり赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施しました。

- ・主 催 日本赤十字社香川県支部、
高松赤十字病院、香川県赤十字血液センター
- ・日 時 平成31年4月28日(日) 11:00～15:00
- ・場 所 高松丸亀町壱番街前ドーム広場
- ・内 容
 - ・保健師による健康相談・体力測定コーナー
握力・血圧・体脂肪測定
 - ・献血コーナー
献血ルーム「オリーブ」にて献血の呼び掛け
 - ・講習体験コーナー
災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
 - ・リラクゼーションコーナー
 - ・キャンペーンコーナー
 - ・平成30年7月豪雨災害救護活動等の写真展示
 - ・餅つき
 - ・子ども用救護服試着体験、記念撮影
 - ・香川県レスキューサポートバイク
赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- ・参加協力 二番丁幼稚園、高松市立勝賀中学校、
香川県立高松南高等学校、尽誠学園高等学校
- ・参 加 者 赤十字ボランティア等 170人
一般来場者 約3,100人

なお、当日の青少年赤十字メンバー等による募金は63,754円となりました。これらは全額、国内外で苦しむ人々の支援を続けるために、赤十字の活動資金として有効に活用させていただきました。



■「世界救急法の日 (World First Aid Day)」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「世界救急法の日 (World First Aid Day)」であることから、令和元年度においては、次のとおり記念イベントを実施し、高松赤十字病院「県民公開講座」を開催するとともに、参加者にAEDの操作体験を含めた一次救命処置の重要性について認識を深めていただく機会を提供しました。

- ・日 時 令和元年9月14日(土) 9:30～11:50
- ・主 催 日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター コミュニティホール
- ・内 容
 - ・高松赤十字病院「県民公開講座」
 - 演題／「平成30年7月豪雨災害における救護活動について」
 - 講師／高松赤十字病院 呼吸器科医師 小川 瑛氏
 - 看護係長 黒田 裕子氏
 - 入院調剤係長 小畑 雅彦氏
 - ・救急法の実技体験、AEDの操作体験、乳幼児の心肺蘇生
 - 災害時に役立つ代用品紹介やリラクゼーション体験等
- ・来場者等 137人



■「赤十字なんがでっきょん?セミナー」の実施

赤十字の施設見学や講習会等で、実際に「見て・聞いて・触れて・感じて・納得して」いただくことにより、赤十字事業への理解と知識を深めていただくことを目的に実施することとしており、令和元年度においては、次のとおり実施しました。

体験内容

- 赤十字について
- 非常食の炊き出し
- 防災セミナー
- 香川県支部の災害救護装備や備蓄救援物資見学

月 日	地区・分区	参 加 者	人数
12月19日(木)	善通寺市	奉仕団員、婦人会員	30
12月20日(金)	まんのう町	奉仕団員、婦人会員、自治会員	35
1月17日(金)	丸亀市飯山町	婦人会員、婦人防火クラブ員	28
2月13日(木)	さぬき市	奉仕団員	26
2月14日(金)	多度津町	福祉保健推進員	16
3月11日(水)	坂出市	奉仕団員	※
3月12日(木)	高松市(香西地区)	婦人会員	※
合計 5 回		合計135人	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



■ 日本赤十字社香川県支部創設130周年記念赤十字大会

日本赤十字社香川県支部が明治22年（1889年）9月26日に発足して130周年を迎え、記念赤十字大会を開催しました。

この大会では、これまで赤十字を支えてこられた奉仕団やボランティアなど、多くの方々にお集まりいただき、表彰状等の伝達、感謝状の贈呈、活動発表、記念講演などを行いました。

- ・日 時 令和元年11月23日（土・祝） 10:00～14:30
- ・場 所 香川県社会福祉総合センター コミュニティホール
- ・参 会 者 258人
- ・表彰受賞者

奉仕者功労	148人
青少年赤十字指導者功労	4人
青少年赤十字加盟校功労	14校

●プロローグ

「日本赤十字社香川県支部創設130周年 映像」上映

●式典

- ・表 彰 式
- ・社長メッセージ
- ・活 動 発 表

香川県赤十字安全奉仕団 河野 好一 氏
 「ボランティア活動に参加して ～東日本大震災～」
 香川県赤十字奉仕団“ほっと” 橋詰 静代 氏
 「平成30年7月豪雨災害における被災者支援活動」
 高松市立香東中学校 前野 勝彦 氏
 「私の青少年赤十字活動 ～気づき 考え 実行する～」

- 記念講演Ⅰ 演題／「赤十字の伝統を未来へ」
 講師／日本赤十字国際人道研究センター所長
 井上 忠男 氏
 （秋田赤十字看護大学特任教授）

- 記念講演Ⅱ 演題／「心と心をつなぐ防災」
 講師／落語家 桂 福丸 氏



■ 赤十字レッドライトアッププロジェクトの実施

日本赤十字社では、紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、「人道」への理解を深めていただくことを目的として、赤十字の創始者アンリー・デュナン の生誕の日である5月8日の世界赤十字デーを中心に、全国各地の歴史的建造物等のレッドライトアップを行っています。

香川県支部では、5月1日の日本赤十字社創立記念日から5月8日の世界赤十字デーまでの8日間、高松藩主松平家の菩提寺である法然寺において、五重塔を中心に、レッドライトアップを行いました。





令和元年度香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出した日日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

令和元年度総会は8月7日（水）に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢63人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。

また、総会の議事に先立ち、平成30年度に高額の活動資金の寄託がありました方々に浜田恵造支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

- ・会 員 数 個人 49人 法人 90社
- ・総 会 日 時 令和元年8月7日（水）
- ・場 所 リーガホテルゼスト高松
- ・参 加 者 63人
- ・社長感謝状 個人 2人 法人 2社
- ・金色有功章 個人 3人 法人 1社
- ・銀色有功章 個人 10人 法人 49社

有功会県外研修は、四国電力伊方発電所内の見学を行いました。

- ・視 察 日 時 令和元年6月11日（火）
- ・視 察 地 四国電力伊方発電所（見学） 他
- ・参 加 者 会員他 33人



評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。

評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

令和元年度は、令和元年6月5日（水）、令和2年2月5日（水）の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの平成30年度事業報告、決算、令和2年度事業計画、予算等が承認されました。



日本赤十字社香川県支部役員名簿

（令和2年3月31日現在）

職 名	氏 名	地 区 別	職 名	氏 名	地 区 別
支 部 長	浜 田 恵 造		評 議 員	福 岡 由 紀 子	丸亀市地区
副 支 部 長	天 雲 俊 夫		〃	鈴 木 勝 榮	〃
監 査 委 員	新 佐 耕 二		〃	松 浦 佳 子	坂出市地区
〃	長 嶋 正 信		〃	高 畑 光 宏	善通寺市地区
〃	角 田 富 雄		〃	挽 田 公 孝	観音寺市地区
評 議 員	石 田 雄 士	高松市地区	〃	藤 井 邦 子	さぬき市地区
〃	大 野 敏 子	〃	〃	六 車 ひ ろ み	東かがわ市地区
〃	中 村 絹 代	〃	〃	植 岡 澤 江	三豊市地区
〃	山 本 フ ジ 子	〃	〃	三 枝 邦 彦	小豆地区
〃	稲 毛 和 子	〃	〃	伊 藤 良 春	東讃地区
〃	林 茂 子	〃	〃	谷 川 俊 博	中讃地区
〃	橘 順 子	〃	〃	丸 尾 幸 雄	〃
〃	平 田 フ サ 子	〃	〃	香 川 亮 平	支部長選出
〃	藤 澤 津 多 子	〃	〃	藤 目 真 皓	〃
〃	上 枝 直 樹	〃	〃	岩 井 秀 樹	〃
〃	岩 崎 正 朔	丸亀市地区	〃	近 藤 彰 介	〃

※評議員任期 平成31年2月14日～令和4年2月13日





令和元年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)	科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)
社資収入	165,700,508	67.2	災害救護事業費	30,056,530	15.2
一般社資収入	131,060,637		救護看護師養成費	4,320,000	2.2
・会費収入	125,196,178		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	27,675,287	14.0
・寄付金等収入	3,844,459		奉仕団活動費	2,853,656	1.4
・指定事業社資収入	2,020,000		青少年赤十字活動費	4,087,978	2.1
法人社資収入	34,639,871		地域(市町)における赤十字活動費	20,686,000	10.5
・指定事業社資収入	2,000,000		赤十字運動普及・会員増強費	19,077,044	9.7
・その他社資収入	32,639,871		医療施設基盤整備交付金	1,356,200	0.7
委託金等収入	1,201,184	0.5	血液事業基盤整備交付金	1,599,653	0.8
本社からの事業交付金	7,048,615	2.9	国際救援活動費及び本社事業費	24,963,472	12.6
繰入金収入	1,237,006	0.5	資金積立金(災害等・国際救護活動・施設整備準備積立金)	24,140,000	12.2
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,231,651	2.1	資産管理費	4,220,441	2.1
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	6,087,707	2.5	事業管理運営費	32,416,315	16.4
前年度繰越金(年度当初事業資金)	60,232,939	24.4	歳 出 合 計	197,452,576	100.0
歳 入 合 計	246,739,610	100.0			

歳入歳出差引(翌年度当初事業資金) 49,287,034円

Mission statement



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



 **日本赤十字社** 香川県支部
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp
ホームページ : <https://www.jrckgw.com>

日本赤十字社香川県支部

検索

